

**団体名**

特定非営利活動法人青い鳥動物愛護会 (防府市)

代表者名	清水 久仁子	団体の目的 ・ 野良犬や猫の保護と健康管理、避妊去勢、譲渡 ・ 福祉施設や老人ホーム等を訪問して動物とのふれあい活動を推進 ・ 動物愛護に関する啓蒙や犬猫の殺処分0をめざす
構成員数	会員100人／ボランティア60人	
設立	H27年5月	
問い合わせ先	☎090-5240-5398 (事務局)	

**事業名** 青少年に命の尊さを伝える事業**事業の目的**

- ・ 犬猫が殺処分されている現状や命の尊さを子ども達に伝える
- ・ 犬猫とのふれあいにより、人と繋がりを持てるきっかけをつくり、引きこもりやいじめなどの被害者・加害者にある「思いやりの心」を引き出す

**事業の内容**

- ①映画「犬に名前をつける日」の上映と監督のトークショー  
日にち：5月21日(日) 場所：防府市市民協働活動支援センター(防府市)  
日にち：3月17日(土) 場所：JA防府とくち本所(防府市)  
トークショーには山田茜監督と、映画にも登場した「犬猫みなしご救援隊」の中谷代表が、撮影時の状況や殺処分、保護活動の現場等を報告
- ②犬猫の譲渡会  
年間を通して13回開催、延べ800人が参加

**事業の成果**

- ・ 保健所で殺処分される悲しい犬猫の現実や、その命を救おうとする人々の活動、殺処分を取り巻く社会背景などを、ありのままに伝えることができた
- ・ 譲渡会では、保護された犬や猫とのふれあいや譲渡により、犬や猫と共生することの喜びや大変さ、命の尊さを、多くの人に実感いただくことができた
- ・ 動物愛護への理解が広がり、青少年のボランティアの申し出がふえた(インターンシップへの申請数の増加、職場体験の申込等もある)

**活動現場レポート！****映画上映と監督のトークショー** (H29.5.21/防府市市民協働活動支援センター)

この日の午前の上映会には、市内外から約80人が参加されました。

映画は、主演の小林聡美扮するTV局のディレクターが「犬の命」をテーマに映画を撮っていくという、フィクションとドキュメンタリーが混在した内容で、保健所での悲惨な光景、奮闘する保護活動の現場、犬や猫と人間との絆が描かれていました。

トークショーでは、山田監督が、映画を製作した理由や活動の現場等について思いを話されました。映画のタイトルにもなっている「犬に名前をつける」ということは、人間にとっては「犬の命に責任を持つ」犬にとっては「その瞬間から生きるという選択を与えられる」ことであり、犬の命に対する責任を一人ひとりがもっと重く受け止め、考えていかなければならないと熱く語られました。参加者も真剣に聞き入っておられ、その後もたくさんの質問が出ていました。

動物の命を救うという切実で大変な活動を、一生懸命続けられているということを実感したイベントでした。



監督の思いに胸を熱くする参加者



会場に救われた1000の命が掲示されていました